



あなたの息切れは 肺の病気で でしょうか？



高血圧や弁膜症による 心不全がもしれません



YouTube公開期間

令和4年3月1日(火)

11時30分から令和4年5月末まで

講演

1 『高齢者高血圧に関する最近の話題』

循環器内科 部長 石川 譲治

2 『弁膜症からくる息切れは要注意!?～TAVI治療に至るまで～』

循環器内科 専門医長 村田 哲平

3 『あなたの息切れは、心不全の症状かも？心不全の息切れは運動と自己管理で改善できる～心臓リハビリテーションとは～』

循環器内科 専門医長 小川 雅史

視聴方法

以下のURLもしくはQRコードよりアクセスしてください。(視聴無料・申込不要)
<https://www.tmghig.jp/research/lecture/gerontology/>



主催



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

問い合わせ先 総務係 広報担当

03-3964-1141 (内線1239)

ホームページ <https://www.tmghig.jp>

あなたの息切れは肺の病気でしょうか？ 高血圧や弁膜症による心不全かもしれません



新型コロナウイルスやインフルエンザなど急性の感染症や肺の病気により息切れが起こることはよく知られています。しかし、高齢者で多いのは、早歩きした時や階段を上った時にみられる、心不全の初期症状としての息切れです。高血圧症の方では、心臓の肥大から心臓が良く動いている心不全(HFpEF)が起こります。また、75歳を超えると心臓の出口にある大動脈弁という弁が、特に理由もなくだんだん狭くなることがあります。これは大動脈弁狭窄症という弁膜症で息切れのもとになります。また、加齢により筋肉が衰えるサルコペニアという状態では、心臓があまり悪くなくても息切れが起こります。これらの循環器の病気は、早めに診断ができればほとんどが治療でよくなるため、その見分け方を学んでください。



副院長 原田 和昌

講演概要

1 『高齢者高血圧に関する最近の話題』

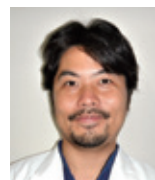
循環器内科 部長 石川 譲治



高血圧は日本人の約4,300万人に認められ、脳卒中、心筋梗塞、心不全発症の危険因子です。最近の研究結果から収縮期血圧130mmHg以下が推奨されるようになりました。中年期から後期高齢期にかけて、メタボやフレイル対策も考慮した血圧管理をお話します。

2 『弁膜症からくる息切れは要注意!? ～TAVI治療に至るまで～』

循環器内科 専門医長 村田 哲平



弁膜症とは？から始まり、息切れを含む弁膜症の症状のお話、そして弁膜症を見つけるにはどうすればよいのか？最後に経カテーテル的大動脈弁留置術TAVIを含めた治療のお話をわかりやすく解説していきます。

3 『あなたの息切れは、心不全の症状かも？心不全の息切れは運動と自己管理で改善できる～心臓リハビリテーションとは～』

専門医長 小川 雅史



高齢者の心不全は年々増加傾向で、特にサルコペニアに合併した心不全は予後不良とされています。心不全とサルコペニアとは何か、心臓リハビリテーションはどのようなものかを解説し、自宅でもできる簡単な運動も合わせてご紹介します。

視聴方法

右記のURLをご参照ください。 <https://www.tmghig.jp/research/lecture/gerontology/>
※場合により、動画公開期間を延長することがあります。



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

総務係 広報担当

03-3964-1141 (内線1239)

ホームページ <https://www.tmghig.jp>

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。